

## ベトナムによるグリーントランスフォーメーションの試み

2025 年 2 月 4 日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

### ベトナムによるグリーントランスフォーメーションの試み

ベトナムは、再生可能エネルギーにおいて大きな潜在能力を持つ国である。風力エネルギー、太陽光エネルギー、小規模水力発電などの開発は、温室効果ガスの排出削減やエネルギー安全保障の強化、新たな雇用創出に寄与する。

特に、2020 年には再生可能エネルギーへの投資額が 80 億ドルに達し、世界で 8 位となった。この投資の多くは風力発電と太陽光発電に向けられており、ベトナム政府は 2030 年までに再生可能エネルギーの発電比率を 29%に引き上げる目標を掲げている。公共交通システムの改善も進められており、これは大気汚染の抑制やエネルギーの節約に貢献する。電動バスや鉄道への投資が行われ、ベトナム市民の生活の質向上や交通渋滞の緩和が期待されている。

さらに、廃棄物管理やリサイクルにも力を入れており、リサイクル工場の建設や現代的な廃棄物処理システムの整備が進められている。これにより、環境保護と資源の最大限の活用が図られる。また、水質改善を目指した廃水処理プロジェクトや淡水生態系保護への投資も行われており、農業や水産業の持続可能な発展が期待される。

グリーントランスフォーメーションは長期的かつ複雑なプロセスであり、政治システムや企業、地域社会全体の協力が不可欠である。多くの課題が残る中で、国際機関からの支援と国内の決意をもって、ベトナムは持続可能な発展を目指している。このように、ベトナムは環境保護と経済発展を両立させるために積極的な取り組みを行っており、その成果は市民生活にも好影響を与えられよう。再生可能エネルギーへの投資拡大や公共交通システムの改善は、持続可能な社会を実現するための重要なステップである。

以上